平成31年1月 斐伊川水系水質情報

平成31年1月(宍道湖:11日・中海:10日採水)									単位:mg/l(Chlーa: μg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部			
COD	全層	5. 3	Δ	平年並み	3. 2	Δ	平年並み	4. 1	Δ	平年並み	
全窒素	上層	0. 65	Δ	平年並み	0. 35	0	良好(平年並み)	0. 59	Δ	平年並み	
全リン	上層	0. 034	Δ	平年並み	0. 028	0	良好(平年並み)	0. 050	Δ	平年並み	
Chl-a	上層	36	Δ	平年並み	16	Δ	平年並み	31	Δ	平年並み	
塩化物	上層	2, 480	Δ	平年並み	10,700	Δ	平年並み	10, 500	Δ	平年並み	
イオン	下層	3, 070	Δ	平年並み	16, 800	Δ	平年並み	10, 900	Δ	平年並み	
溶存	上層	12. 9		やや高い	11. 1		平年並み	11. 6	·	平年並み	
酸素	下層	10. 6		平年並み	5. 7		平年並み	11. 0		やや高い	

前月との比較		宍	道湖湖心	rļ	中海湖心	米子湾中央部		
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	
COD	全層	4. 5	やや上昇	2. 9	やや上昇	3. 5	横ばい	
全窒素	上層	0. 46	上昇	0. 49	下降	0. 61	横ばい	
全リン	上層	0. 072	下降	0. 050	下降	0. 065	やや下降	

宍道湖の透明度は1.0mから1.4mに上昇し、平年並みとなった。中海の透明度は1.8mから1.9mと横ばい。米子湾の透明度は先月同様1.6mとなっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍・・・・・ ★ 〈非常に高い〉

平均値+標準偏差値の2倍・・・・・ ☆ 〈かなり高い〉 平均値+標準偏差値 × 〈 やや高い〉

平均値−標準偏差値・・・・・・△〈平年並み〉

ただし、環境基準値以下の場合は〈良好〉とする。

平均値ー標準偏差値の2倍・・・・・ ○ 〈良好〉

ただし、環境基準値を下回らない場合は△でくやや低い>とする。 〈やや低い〉(塩化物イオン)

平均値ー標準偏差値の3倍・・・・・ ◎ 〈かなり良好〉

〈かなり低い〉(塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値士標準偏差値の変化・・・・・ 上昇、下降

前月値 ±標準偏差値の 1/2 の変化・・やや上昇、やや下降、横ばい

注) 平均値 ± 標準偏差値 ・・・・・全体のおよそ 68.2%

平均値 ±標準偏差値の2倍・・全体のおよそ95.5%

平均値 ± 標準偏差値の3倍・全体のおよそ99.7%